

福瀬桥架橋に着工

橋長160メートル 幅員5.5メートルの永久橋

44年から3カ年で完成

福瀬区広瀬地区に永久橋をかけることで、いま取付道路の工事がすすんでいます。

広瀬地区は、町役場から約十キロメートル離れた、県道仲野原〜美々津線の耳川をはさんだ対岸の地で、交通の便利が悪く、そのため児童生徒の通学をはじめ、日常生活にたいへん不便でありました。現在は、広瀬をはじめ、宮ヶ原横瀬の三ヶ所に町営と組合営の渡舟場があり、毎日平均百八十人の利用者があります。

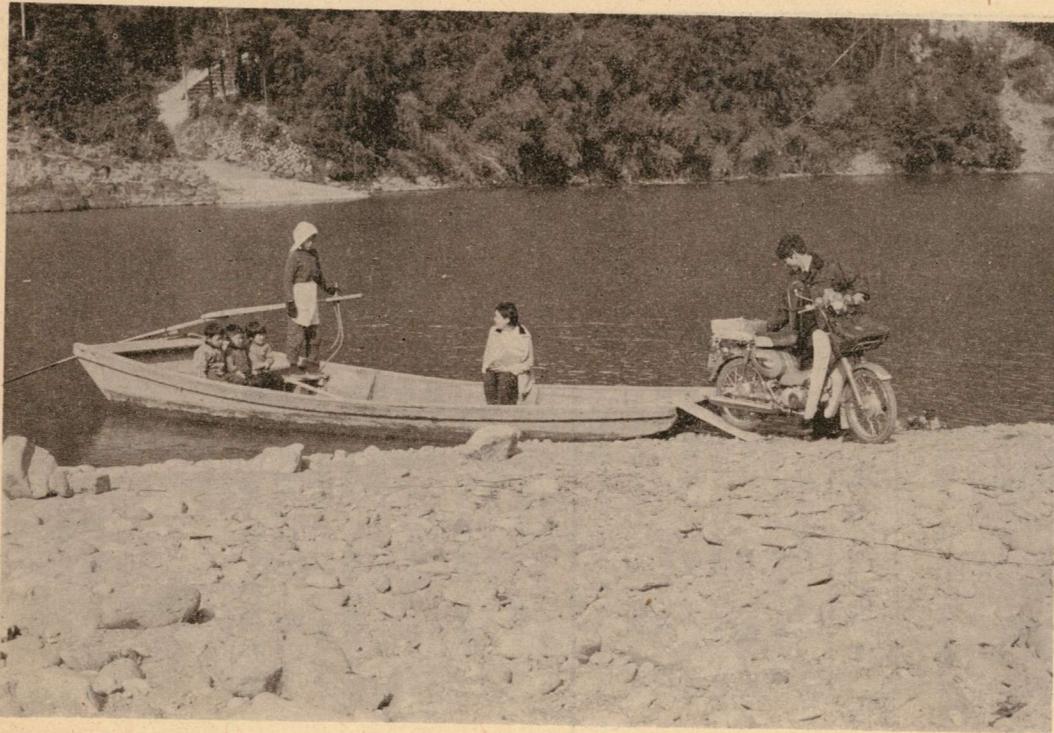
この地区に橋をかけることは、地元をはじめ、町としても長い間の夢であったわけですが、町では国の辺地総合整備計画により、四十四年度から三十九年計画で、総事業費八千九百九十四万円をかけて福瀬橋(仮称)の架設を行なうことになりました。

計画では、四十四年度に延長百六十呎、幅員五・五呎の取付道路を、四十五年度には、橋台、橋脚の下部工事を、四十六年度に橋長百五十呎、幅員四・五呎の橋梁部分を施工し、同年中に完成させる予定にしています。すでに、取付道路の工事は一月二十八日に着工し、工事も順調にすすみ、三月二



昭和45年 3月号

発行所 東郷町役場
編集人



十日には完成する見込みです。この福瀬橋の完成により、広瀬地区の交通事情はもとより、耳川対岸の地域開発におおいに役立つものと期待されます。また、別に計画のすすめられている国営農地

開拓パイロット事業によって開発が予定される鶴戸木、日田尾地区の農道と、県道仲野原〜美々津線を結ぶパイプとしての役目も負わされており、早期完成が待たれています。(写真は広瀬渡舟場)

〇……………としておくくと便利です……………〇

点滴



やよい

さむい冬のあいだ

低の気圧配置も、二月二十日の「春いちばん」とともにくずれだし、日中の気温もどんどん上がって、急に春めいてきました。▽三月のことを和名で「やよい」といいます。旧暦三月の異称で「弥生」と書いて、やよいと読ませるわけですが、これは草木がいやがうえにもはえ繁ることを「いやおい」といったことからできた用語です。三月は英語で「マーチ」といいます。何々行進曲などでおなじみのマーチで、やはり発らつと動く月ということでしょう。

▽三月三日の三三が、みみ(耳)に通ずることから、この日を、「耳の日」と決めました。

春さきは、耳の病気が多くなります。耳は眼とともに、私たちの日常生活にかけがえのないものですが、耳のほうは案外ひとに目立たないせい、か、簡単に少し遠いぐらゐに考えがちです。耳鳴り、耳の痛みなどのある人は、いっぺん専門医に診てもらいましよう。そらつとばけて…というまゝに、聴覚障害に気づき早目に手当を忘れずに。

多摩川の砂にたんぼは咲く
ころはわれにもおもふひと
のあれかし

牧水

米の生産調整に協力を

転作・休耕に奨励金

1kg当り81円

農業共済の反収を基準

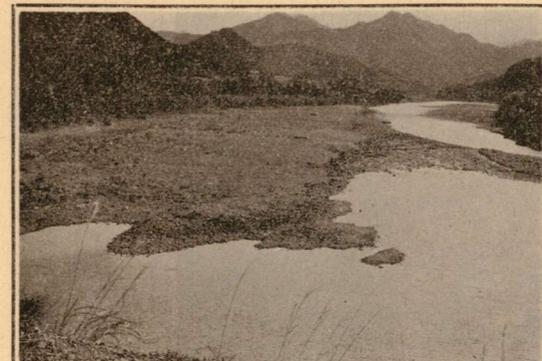
「梅一輪一輪つづの暖かさ」の句のごとく、春の訪れとともに鈴峰園内の生活も、明るいムードに...

政府は当面する米の過剰生産を解決するため、農家の皆さんの協力を得て、非常緊急の措置として...

- ①転作休耕には区別はつけられない
②造林養魚池畜舎なども転換の対象とする
③市街化区域も対象とする...

山陰城と坪谷城

塩月 儀市



伊東義祐は日向國のほとんども手中に収め僅かに隈(延岡)の土持氏のみが残っていた...

郷土の今昔 (2)

また、就職希望者は全体の三十人に計五十三人となつていますが就職希望者のうち全体の十七割にあたる三十人が県外への就職を希望しています...

三戸に一台の電話 町内に七百七十七台

集団自動電話が開通

町内の下渡川と寺迫を除く全域に農村集団自動電話が開通し、二月二十七日に、中央公民館で開通式が行なわれました。

制度を設けて、全国的に加入をすすめているもので、本町では、昨年三月に寺迫地区七十八戸が加入してあります。



開通をよろこぶ加入者 早速モシモシ……

いたもので、二月に全戸の電話機取り付けが終了通話を開始いたしました。これに既設の電話二百五台と合わせ町内の電話の台数は七百七十七台となり、約三戸に一台の電話普及となります。

国民年金の保険料は、納期限までに必ず納めなければならないことになっております。この納期限は四月分からは六月分までの保険料は七月末日、七月分からは九月分まで...

保険料は納期限内に 国民年金

このほかに、一年分をまとめて前納することができます。前納しますと年金は必ずもらえますし、毎月納付する手間は省けます...

町の話題

青年がグラウンド整地

2月15日、町青年団員50名が、町営総合グラウンドの整地作業を行いました。このグラウンドは昨年12月に完成したばかりであちこちに石ころがころがっていましたがすっかりきれいになりました。



郡青年駅伝で健斗

恒例の東白村郡青年駅伝大会が、1月25日に諸塚〜東郷の間で行なわれました。東郷町勢は健斗むなく13チーム中8位でしたが、最後まで力走に沿道の声援も一段と高いものがありました。



